

## 青少年のための肝炎ウイルスの感染予防教育プログラム

### プライバシーポリシー

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾) (以下、研究証といたします) は本サイトのご利用者 (以下、ユーザーといたします) のお名前・メールアドレス・所属団体・電話番号・お問い合わせ等の個人情報の保護に関し、以下に記載する取組みを実施しております。

1. 研究証は、個人情報に関する法令及び、その他の規範を遵守し、ユーザーの大切な個人情報の保護に万全を尽くします。

2. 研究証は、ユーザーの個人情報については、下記の目的の範囲内で適正に取り扱います。

研究証は、ユーザーが本サイトにアクセスする際自動的に取得するデータ及び、登録フォームに入力する際に個人情報をお聞きしたり自動的に入手したりします。

研究証が取得する個人情報は、本サイトのサービスに必要なものに限られています。

本サイトはユーザーのIPアドレス、クッキー情報やユーザーが閲覧したページ、ユーザーの利用履歴などの情報をユーザーのブラウザから自動的に受け取り、サーバーに記録します。

研究証はこうした情報を大きく分けて以下の4つの目的で利用します。

- (1) ユーザーが本サイトのページを利用しやすいように改善するため。
- (2) 機能を改善にお知らせするため。
- (3) 必要に応じてユーザーに連絡するため。
- (4) 利用状況や利用履歴などに関する調査を実施するため。

なお、上記利用目的の他、サービス・アンケート等により個別に利用目的を定める場合があります。

3. 研究証は、ユーザーの個人情報を適正に取扱うため、管理体制の整備を行うとともに、個人情報への不正アクセスや個人情報の損失、毀損、滅失及び、漏洩等防止に関する適切な措置を行い、個人情報の保護に努めます。

4. 研究証は、ユーザーから承諾を得ている場合を除き、第三者にユーザーの個人情報を提供、または開示しません。

5. 研究証では、ユーザーの個人情報の保護を図るために、また、法令その他の規範の遵守に対応するために、プライバシーポリシーを改定する事がございます。

制定日： 年 月 日

難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)  
研究代表者 加藤真吾

戻る

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

## プライバシーポリシー

## 青少年のための肝炎ウイルスの感染予防教育プログラム

### プログラムお申込みページ

プログラム開始までは5ステップです。  
是非、ご参加ください。

ユーザー登録 ▶ 登録内容の確認 ▶ 登録完了 ▶ プログラム専用URLのメール通知 ▶ プログラムにアクセス

下記のフォームにご記入のうえ、「内容確認」ボタンを押してください。  
全ての項目にご記入ください。

団体名	<input type="text"/>
区分	<input type="radio"/> 小学校 <input type="radio"/> 中学校 <input type="radio"/> 高等学校 <input type="radio"/> その他
学年	<input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 3年 <input type="radio"/> 4年 <input type="radio"/> 5年 <input type="radio"/> 6年
姓	<input type="text"/>
代表者名	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
希望日	<input type="text"/>

内容確認

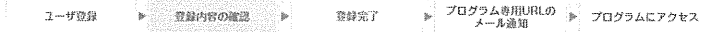
厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

## 登録画面

## 青少年のための肝炎ウイルスの感染予防教育プログラム

### プログラムお申込ページ

プログラム開始までは5ステップです。  
是非、ご参加ください。



下記の情報で登録します。  
ご希望のうえ、「申し込む」ボタンを押してください。  
回答用ページのアドレスがメールで送信されます。

団体名	テスト
区分	小学校
学年	1年
組	1組
代表者名	テスト 太郎
メールアドレス	test@test.jp
希望ID	test

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

## 内容確認

## 青少年のための肝炎ウイルスの感染予防教育プログラム

### プログラムお申込ページ

プログラム開始までは5ステップです。  
是非、ご参加ください。



お申込が完了しました。

プログラム専用URLがメールで送信されます。

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

## 完了画面

OPERATION MENU

ログイン

ユーザIDおよびパスワードを入力し、ログインボタンを押してください。

ユーザID :	<input type="text"/>
パスワード :	<input type="password"/>

ログイン

リセット



WindowsのInternet Explorerより、JavaScriptを有効化してご利用ください。  
ログイン後15分以上画面が遷移をしないタイムアウトとなり、自動的にログアウトされま  
す。  
attention この場合、もう一度この画面からログインしてください。

## 管理者用ログイン画面

OPERATION MENU

ユーザ名:hid管理者【hidadmiv】

[メインメニューへ](#)

[前のページに戻る](#)

メインメニュー

登録ユーザー

一覧表示  
登録ユーザーを一覧表示します。  
ユーザー個別の集計結果も閲覧できます。

一覧表示

回答結果

全体の回答結果表示  
全ての集計を表示します。

結果表示

回答結果CSV出力  
回答結果をCSVでダウンロードします。

CSVダウンロード

[メインメニューへ](#)

[前のページに戻る](#)

## 管理者用メインメニュー

OPERATION MENU

ユーザー管理管理者 [hidadmin]

管理者メニュー

前のページに戻る

登録ユーザー一覧

登録されているユーザーの一覧です。

戻る 12件中 1件目から10件目まで表示 次

ID	団体名	代表者名	メールアドレス	結果表示
tanaka	本輪西小学校 4年 ほし組	細川 麗	tanaka@dosanko.co.jp	変更
tanaka3	港北中学校 3年 3組			変更
doukou	道幸 1年 2組	どうこう	doukou@dosanko.co.jp	変更
sss	道幸2 1年 s	s	doukou@dosanko.co.jp	変更
aaa	道幸2 1年 s	s	doukou@dosanko.co.jp	変更
ardasd	aaa 2年 aa	どうこう	doukou@dosanko.co.jp	変更
afaf	aaa 4年 aaa	aaa	doukou@dosanko.co.jp	変更
doukoumenabu	札幌市立 あああ中学校 2年 3組	道幸 学	doukou@dosanko.co.jp	変更
doukououkou	どうこう団体 1年 A	道幸まなぶ	doukou@dosanko.co.jp	変更
1	3 1年 1	1	taka-ko@dosanko.co.jp	変更

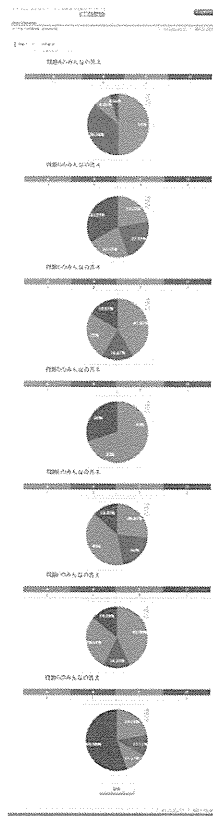
戻る

管理者メニュー

前のページに戻る

COPYRIGHT © 2010 HIB-CO.LTD. All Rights Reserved.

登録ユーザー一覧



回答結果のグラフ一覧 (全ユーザー分)

## 青少年のための肝炎ウイルスの感染予防教育プログラム

プログラムにご参加いただき、ありがとうございます。  
本プログラムを是非ご活用ください。

ユーザー登録 ▶ 登録内容の確認 ▶ 登録完了 ▶ プログラム専用URLのメール通知 ▶ プログラムにアクセス

ホームページ公開用 1年公開用様



厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤貞尚)

## 教員用トップ画面

青少年のための肝炎ウイルスの感染予防教育プログラム

本システムが算出した各クラスの回答結果です。

問題Aのみんなの答え      問題Bのみんなの答え

A	B	C	D
○	○	○	○

100%

A	B	C	D
○	○	○	○

問題Cのみんなの答え      問題Dのみんなの答え

A	B	C	D
○	○	○	○

A	B	C	D
○	○	○	○

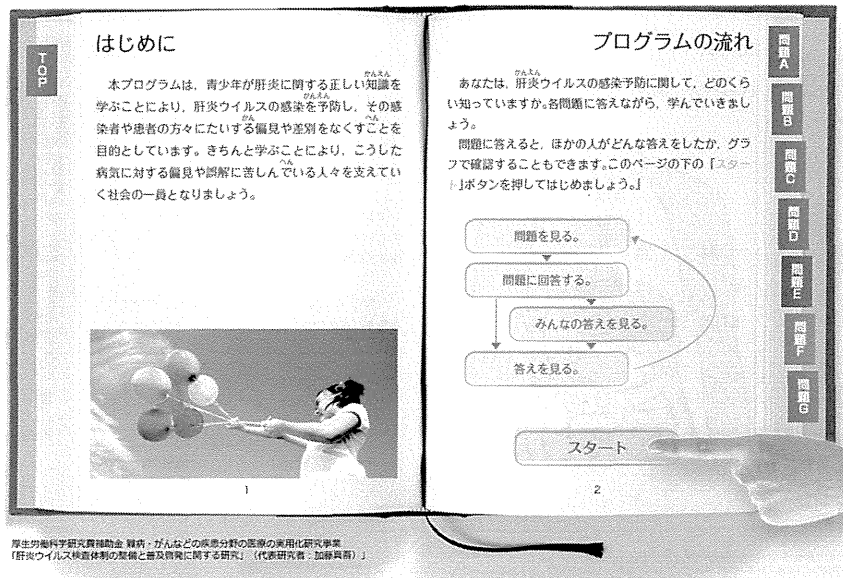
問題Eのみんなの答え      問題Fのみんなの答え

A	B	C	D
○	○	○	○

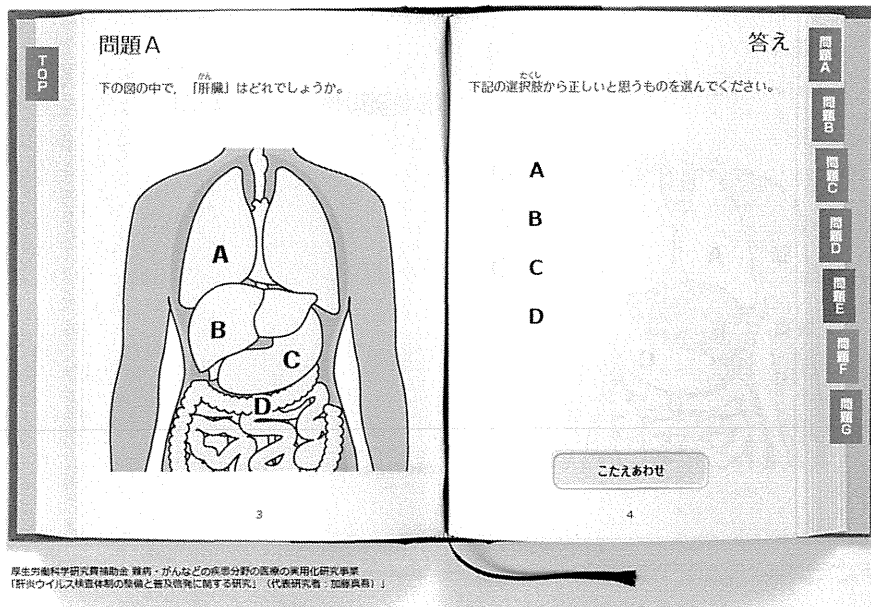
A	B	C	D
○	○	○	○

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤貞尚)

## 回答結果のグラフ一覧 (クラス分)



生徒用 1～2



生徒用 3～4

**問題A**

下の図の中で、「<sup>かん</sup>肝臓」はどれでしょうか。

5

**問題Aの答えと解説**

答えは **B** です。

<sup>かん</sup>肝臓は、強く大きい臓器で、腹部の右上に位置し、重さは成人で1～1.5 kgと体重の約1/50に相当する人体最大の臓器です。

また、高い再生能力があり、全体の8割程度切り取られたとしても、自らを修復する力があり、半年後にはもとの大きさに回復することができます。

一方で、この高い再生能力により、病気などで機能が少し低下してきても自覚症状が出にくく、自分では気がつかないことが多いのです。そのため、「沈黙の臓器」とも言われています。

6

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
 「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

生徒用 5～6

**問題A**

下の図の中で、「<sup>かん</sup>肝臓」はどれでしょうか。

5

**問題Aのみんなの答え**

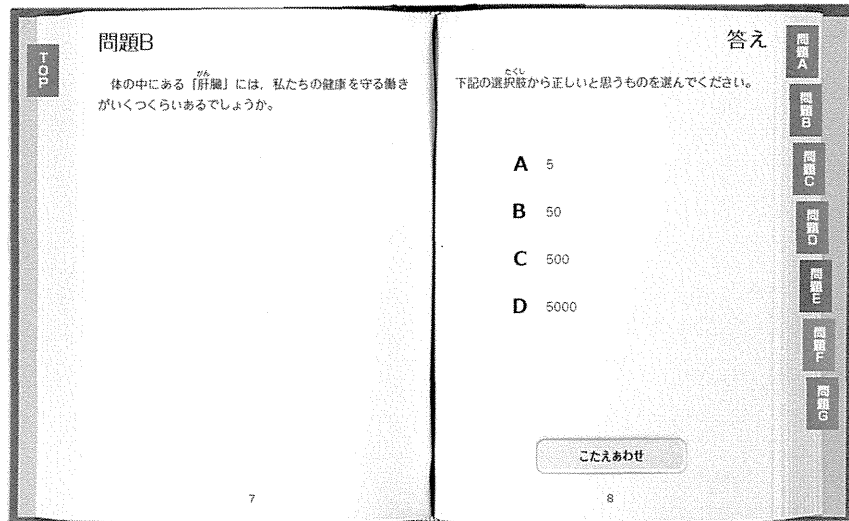
A	B	C	D
0	0	0	0

A  
 B  
 C  
 D

6

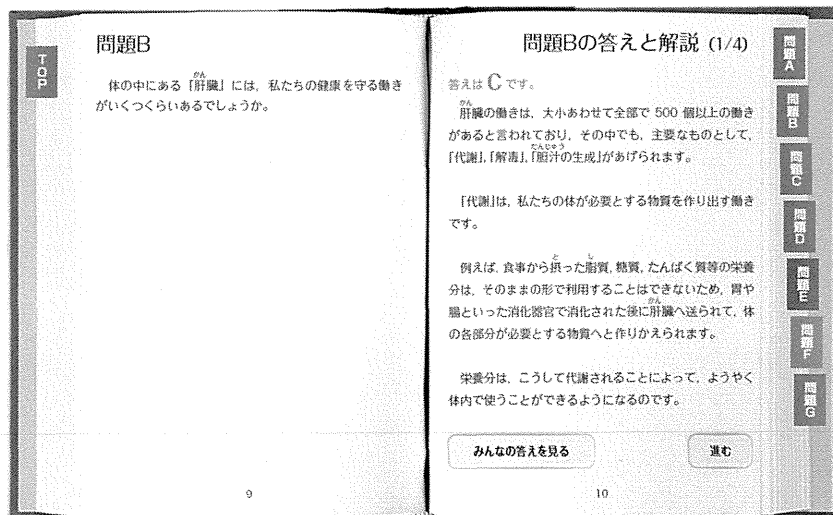
厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
 「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

生徒用 5～6 (グラフ表示)



厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者:加藤真典)

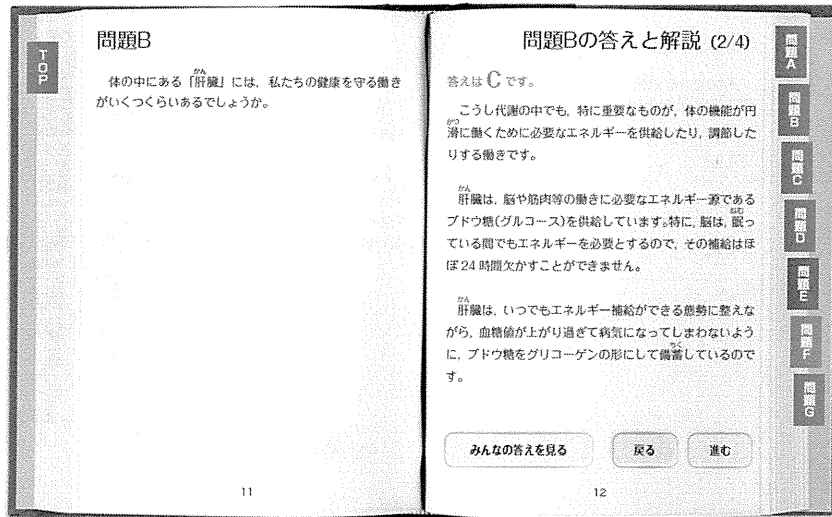
生徒用 7~8



厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者:加藤真典)

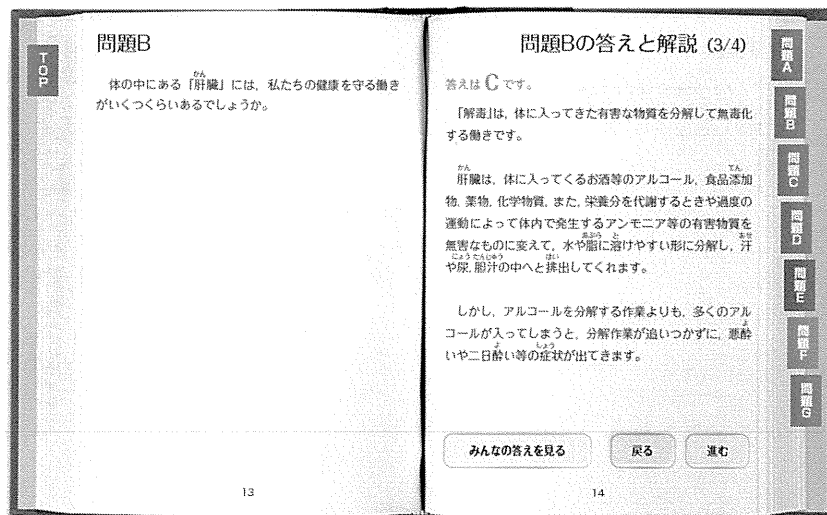
生徒用 9~10





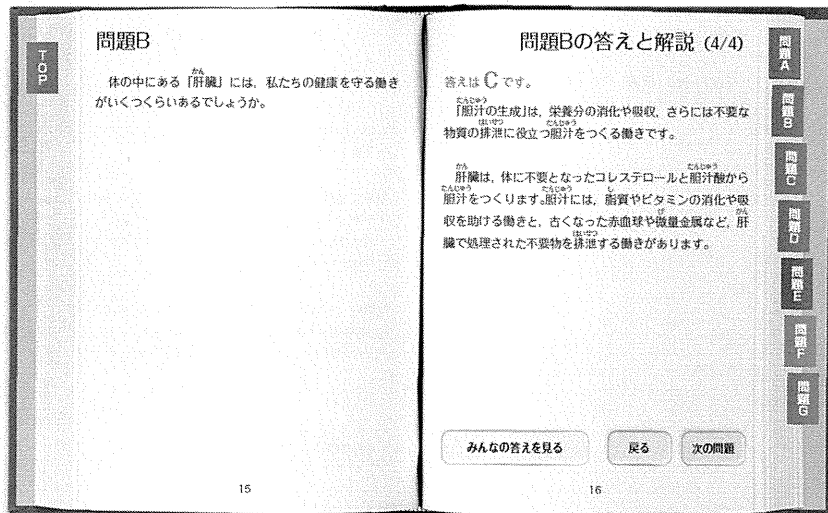
厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者:加藤真吾)

生徒用 11~12



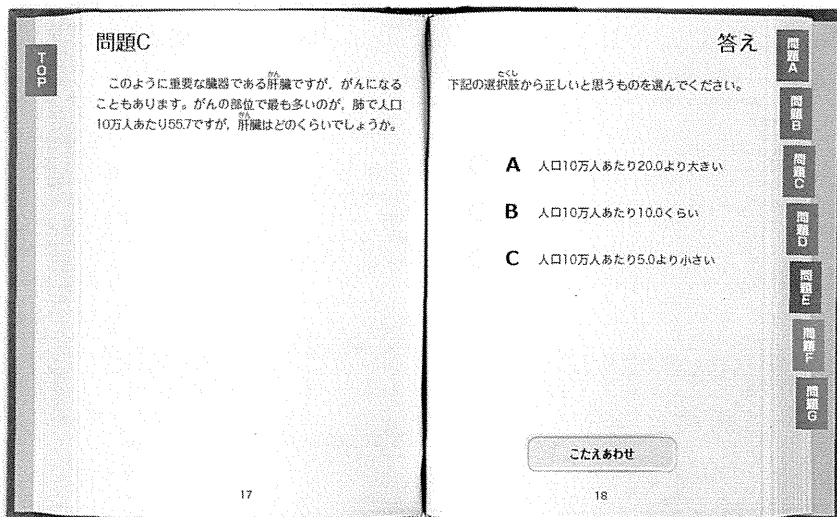
厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者:加藤真吾)

生徒用 13~14



厚生労働科学研究補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究員：加藤真樹)

生徒用 15～16



厚生労働科学研究補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究員：加藤真樹)

生徒用 17～18

**問題C**

このように重要な臓器である肝臓ですが、がんになることもあります。がんの部位で最も多いのが、肺で人口10万人あたり55.7ですが、肝臓はどのくらいでしょうか。

**問題Cの答えと解説 (1/2)**

答えは **A** です。

平成23年で、胃がんが人口10万人あたり39.5、次いで、肝臓がんが25.3となり、肺がん、胃がんに次いで多いものです。

平成23年 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率(人口10万対)

部位	男	死亡数	死亡率	女	死亡数	死亡率
胃	32776	53.3	17041	26.3		
肝臓	20965	34.1	10902	16.8		
肺	50767	82.6	19505	30.1		
大腸	24855	40.4	12730	19.7		
			子宮	6071	9.4	
			大腸	20879	32.3	

みんなの答えを見る 進む

19 20

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者:加藤真吾)

生徒用 19~20

**問題C**

このように重要な臓器である肝臓ですが、がんになることもあります。がんの部位で最も多いのが、肺で人口10万人あたり55.7ですが、肝臓はどのくらいでしょうか。

**問題Cの答えと解説 (2/2)**

答えは **A** です。

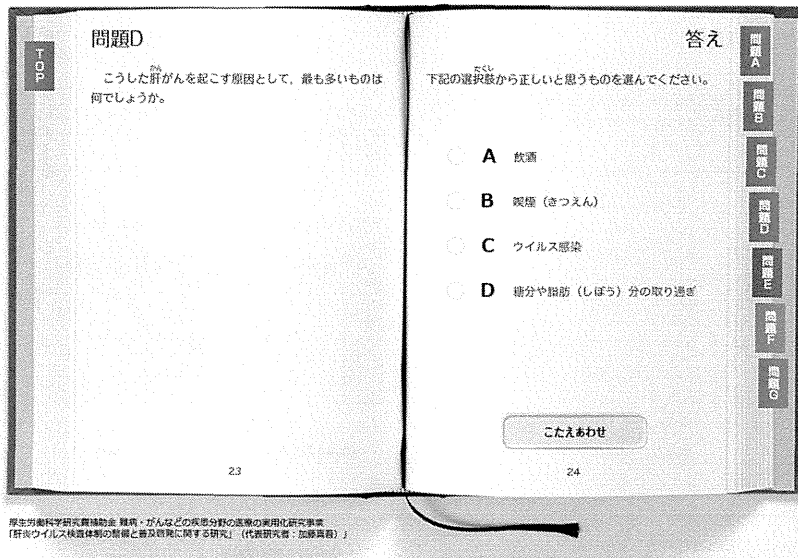
悪性新生物の主な部位別死亡率(人口10万対)の年次推移

みんなの答えを見る 戻る 次の問題

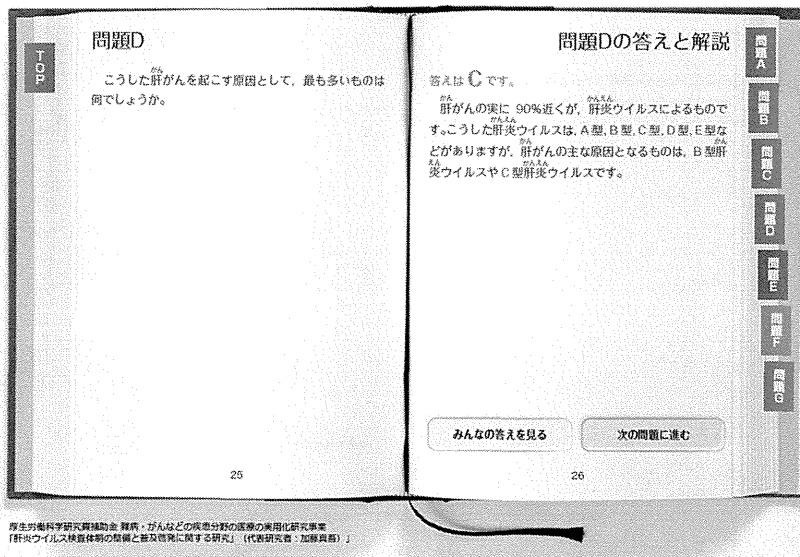
21 22

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者:加藤真吾)

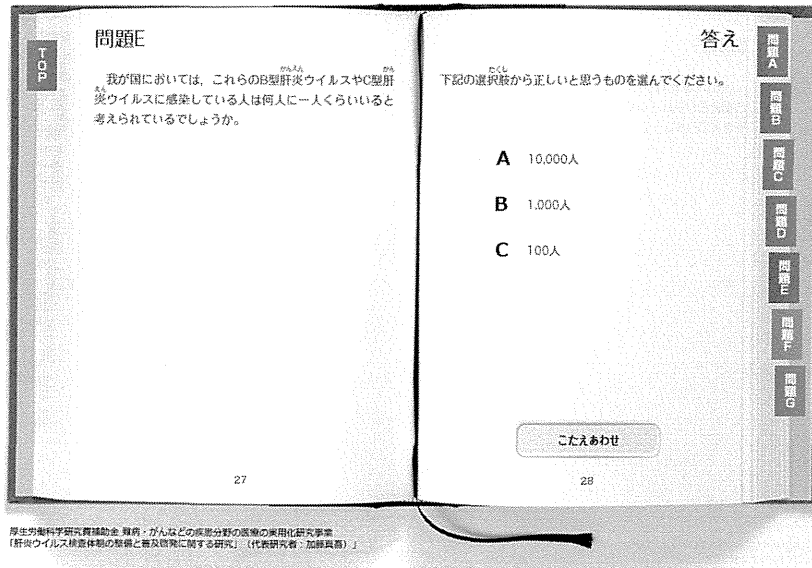
生徒用 21~22



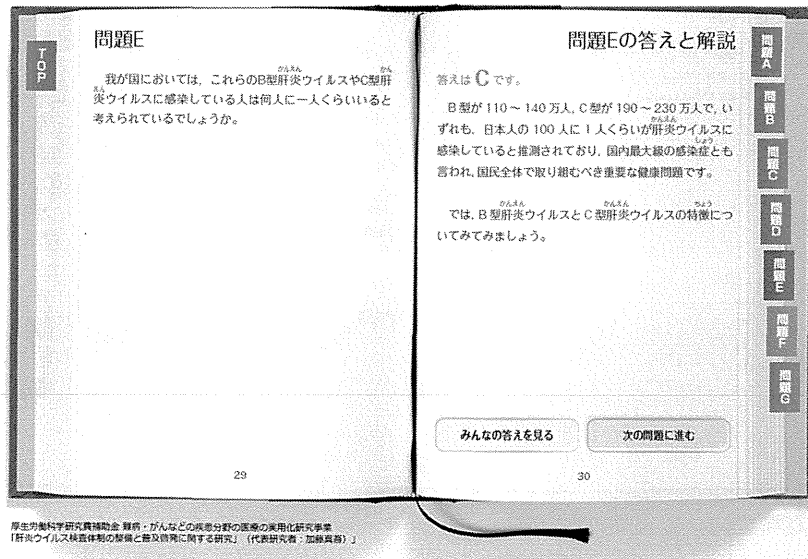
生徒用 23～24



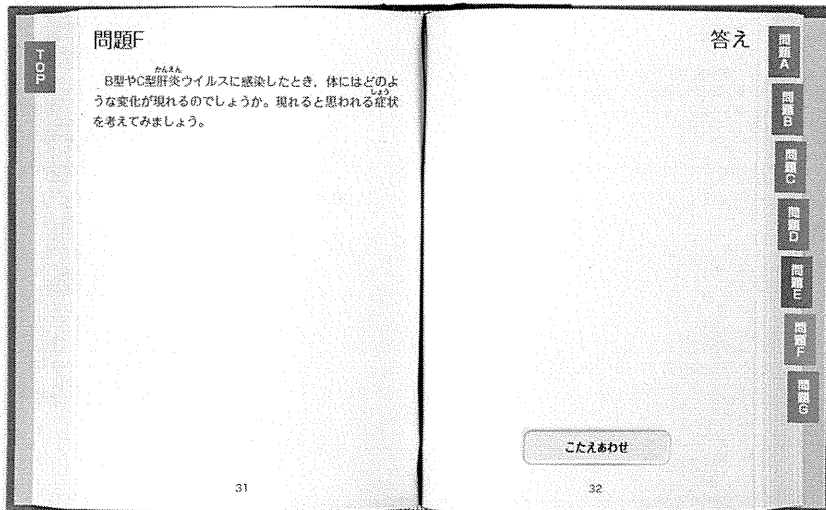
生徒用 25～26



生徒用 27～28

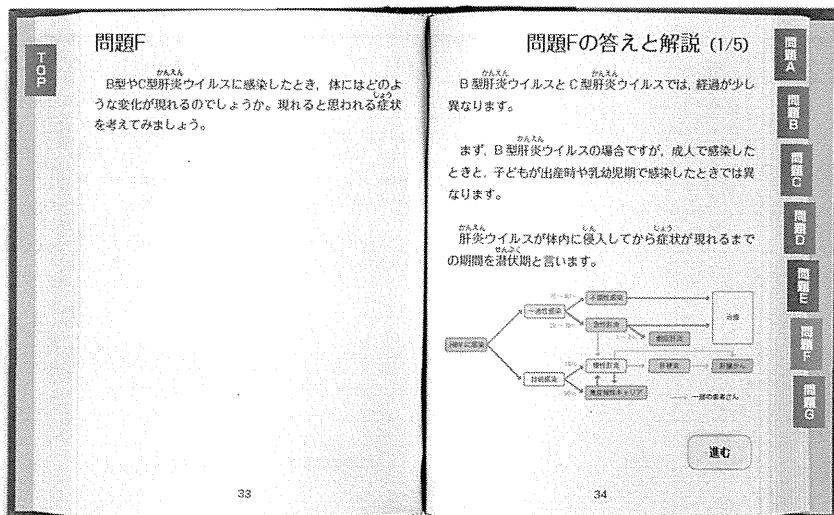


生徒用 29～30



厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
 「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者: 加藤典壽)

生徒用 31~32



厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
 「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者: 加藤典壽)

生徒用 33~34

**問題F**

B型やC型肝炎ウイルスに感染したとき、体にはどのような変化が現れるのでしょうか。現れると思われる症状を考えてみましょう。

**問題Fの答えと解説 (2/5)**

成人で感染したときは、多くの場合、1～3ヶ月間程度の潜伏期間の後、一時的に黄疸、倦怠感(全身のだるさ)、食欲不振、吐き気等の症状が出ますが、1～2ヶ月で治ります。感染しても自覚症状が特に現れない場合があります。本人が感染していることに気づかないこともあります。まれに、重症化して死に至ることや、その後も感染が持続することもあります。

子どもが出産時や乳幼児期に感染したときは、その後ほとんど生涯にわたって感染が継続しますが、自覚症状のないまま過ごすことが多いです。そのうち、10人に1～2人程度の人では慢性肝炎になったり、さらに肝硬変、肝がんへと進行したりする人もいます。

戻る
進む

原生動物科学研究費補助金 腫瘍・がんなどの疾患分野の高学術的応用化研究事業  
【肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究】(代表研究者: 加藤良典)

生徒用 35～36

**問題F**

B型やC型肝炎ウイルスに感染したとき、体にはどのような変化が現れるのでしょうか。現れると思われる症状を考えてみましょう。

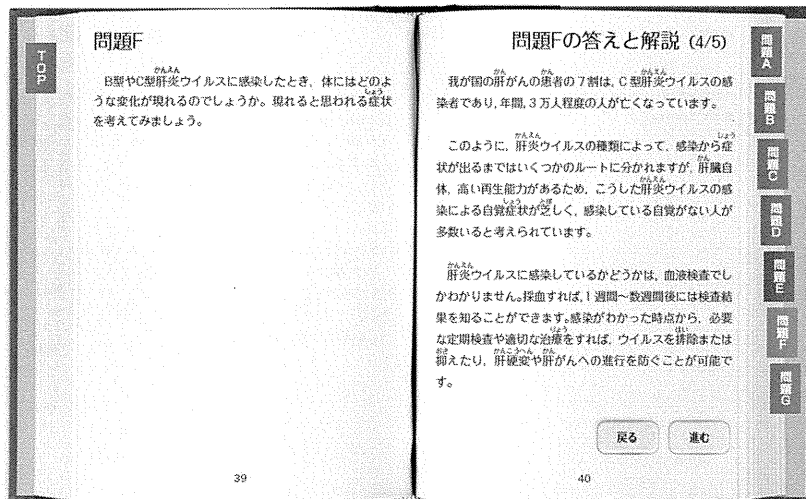
**問題Fの答えと解説 (3/5)**

次に、C型肝炎ウイルスの場合ですが、2～14週間程度の潜伏期間の後、3割程度の人は、一時的に食欲不振や吐き気等の症状が出ますが、1～2ヶ月で治ります。残りの7割程度人は、その後ほとんど生涯にわたって感染が継続します。長期間にわたって自覚症状のないまま過ごすことが多いのですが、およそ20年で3～4割程度の人肝硬変になり、中には、肝がんへと進行する人もいます。

戻る
進む

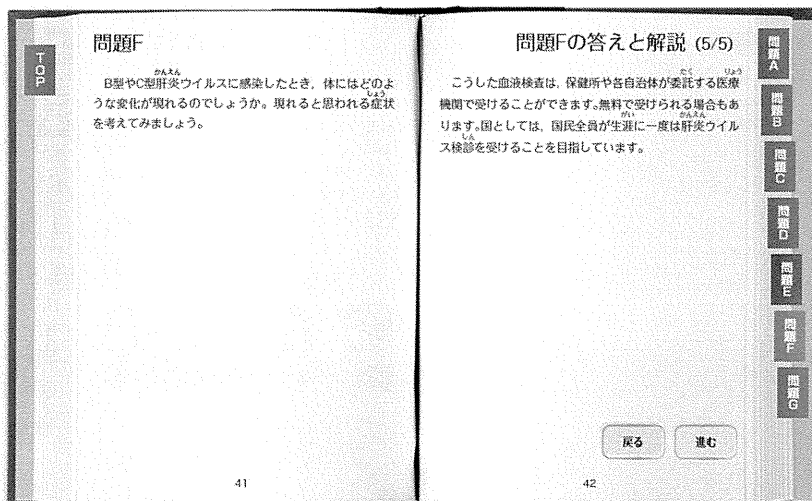
原生動物科学研究費補助金 腫瘍・がんなどの疾患分野の高学術的応用化研究事業  
【肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究】(代表研究者: 加藤良典)

生徒用 37～38



厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
 「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

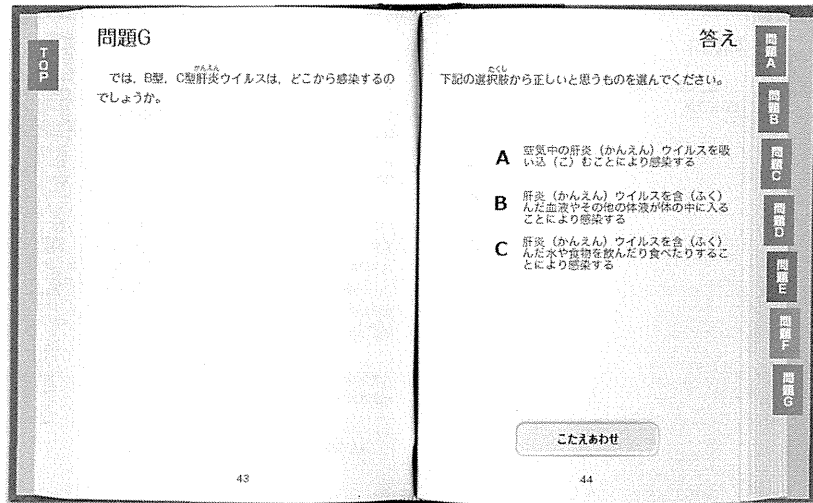
生徒用 39～40



厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の実用化研究事業  
 「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

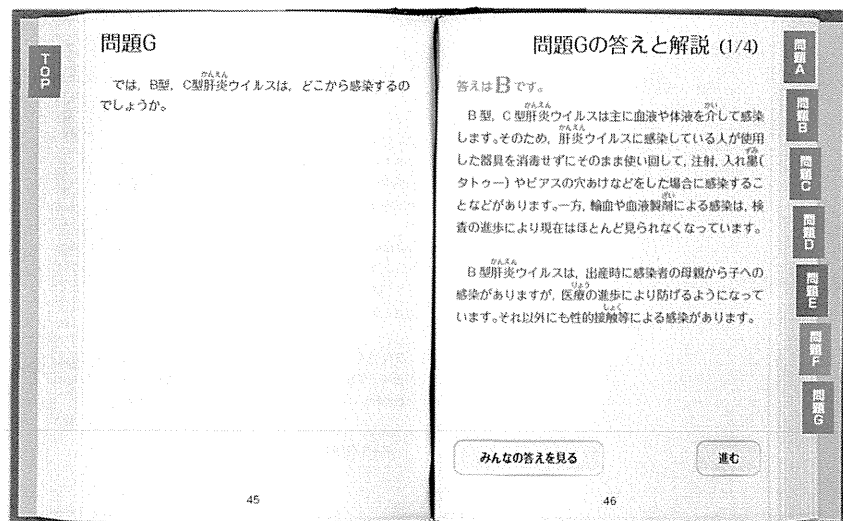
生徒用 41～42





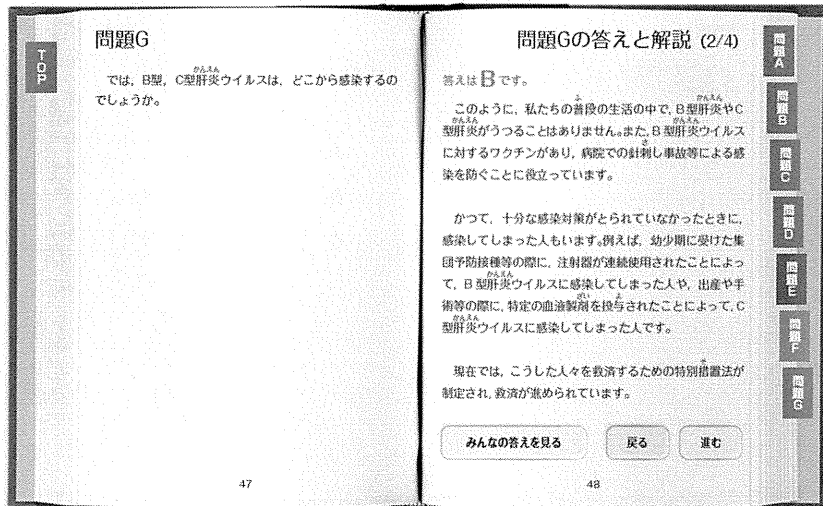
厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」（代表研究者：加藤貞祐）

生徒用 43～44



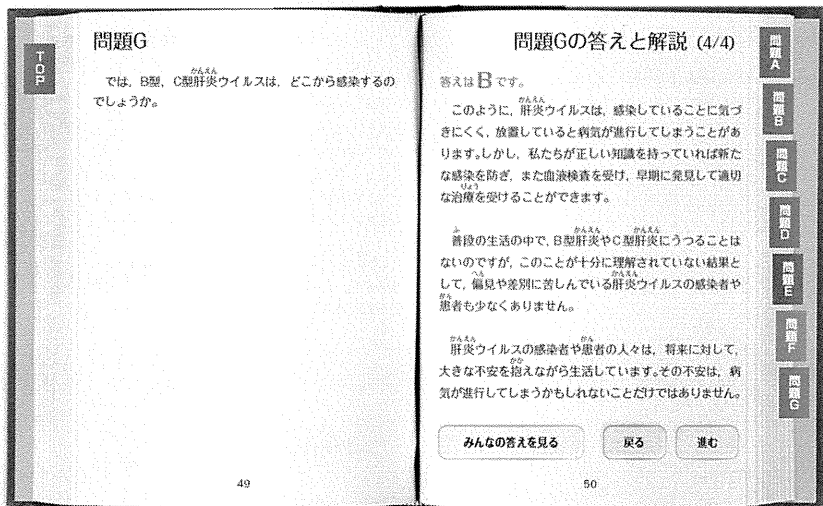
厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」（代表研究者：加藤貞祐）

生徒用 45～46



厚生労働科学研究補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
 「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤貞尚)

生徒用 47～48



厚生労働科学研究補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
 「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤貞尚)

生徒用 49～50

**問題G**

では、B型、C型肝炎ウイルスは、どこから感染するのでしょうか。

51

**問題Gの答えと解説 (4/4)**

答えはBです。

病気を理由に、職場で仲間はずれにされたり、退職させられたり、就職内定が取り消されたり、家族からでさえも避けられたりする人もいます。肝炎だけに限りませんが、どんな病気であれ、病気であることを理由に偏見や差別を受けることがあってはならないはずです。

私たちが病気に関する正しい知識を持ち、感染を予防するとともに、感染者や患者をむやみに傷つけることのないように接して、お互いに支え合っていくことが大切です。

こうした病気に対する偏見や誤解に苦しんでいる人々を支えていく社会の一員としての決意を考えてみましょう。

みんなの答えを見る 戻る

52

問題A  
問題B  
問題C  
問題D  
問題E  
問題F  
問題G

厚生労働科学研究費補助金 難病・がんなどの疾患分野の医療の高度化研究事業  
「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究」(代表研究者：加藤真吾)

生徒用 51～52

## 8. 病院における肝炎ウイルス検査を含む感染症検査の実態調査

研究分担者 加藤真吾 (慶應義塾大学 医学部微生物部・免疫学教室)  
研究協力者 須藤弘二 (慶應義塾大学 医学部微生物部・免疫学教室)

### 研究概要

わが国の病院における肝炎ウイルス検査を含む感染症検査の実態を把握するため、全国 8559 カ所の病院を対象にアンケート調査を実施した。回答のあった病院は 1208 施設で、回収率は 14.1% (病床数換算で 18.5%) であった。肝炎ウイルス検査の 1 施設当たりの平均月間検査数は HBs 抗原検査が 258 件、HCV 抗体検査が 248 件であった。また、1 施設当たりの平均月間陽性数は HBs 抗原陽性数が 9.2 件 (陽性率 3.6%)、HCV 抗体陽性数が 10.5 件 (陽性率 4.2%) であった。肝炎ウイルス検査の割合を目的別にみると、HBs 抗原検査と HCV 抗体検査はどちらも入院時スクリーニングが 33%、術前スクリーニングが 32% であった。検査結果の告知についてみると、入院時スクリーニングとして肝炎ウイルス検査を実施している場合に検査結果を受検者に伝えていない例が多く、いつも伝えている施設の割合は陽性時が 56.6%、陰性時が 33.6% で、伝えていない施設の割合は陽性時が 2.8%、陰性時が 16.9% であった。今後、今回得られたデータをより詳細に解析し、病院における肝炎ウイルス検査をわが国の肝炎対策に役立てるための方策を検討することが重要である。

### A. 目的

我が国の肝炎ウイルス検査の受検状況については、厚生労働省が一昨年度、国民調査、保険者調査、自治体調査の 3 つの調査を横断的に実施し、その分析結果が報告されている (平成 23 年度肝炎検査受検状況実態把握事業)。しかし、この調査には病院における肝炎ウイルス検査についての調査が含まれておらず、その実態についての研究は行われていない。昨年度は、病院における肝炎ウイルス検査の実施規模を他の感染症検査と比較検討するため、全国のすべての病院を対象に、肝炎ウイルス検査を含む感染症検査の検査数についてアンケート調査を実施した。今年度は、病院における肝炎ウイルス検査の実施規模に加え、受検者への検査結果の説明状況や、陽性患者の医療機関への受診勧奨の実態を把握するための調査を行った。

### B. 方法

全国の病院 8559 施設を対象に、HBs 抗原検査および HCV 抗体検査の実施状況に関する調査票 (文末の資料) を 2014 年 1 月 31 日に郵送し、2014 年 2 月 21 日を締切日として、インターネットの回答用ウェブサイトを通じて記入済み調査票を回収した。

病床数と検査数の回答を簡便にするため、あらかじめ設定した階級からそれらを選択できるようにした。病床数、検査数、陽性数の集計をする際は、各階級の中央値を階級値として扱った。最も大きい階級、すなわち設問 3 の階級 1000 以上、設問 5 と 6 の階級 2000 以上の階級値は、それより少ない部分のヒストグラムを参考に、それぞれ 1500、2500 とし て扱った。

### C. 結果・考察

全国の病院 8559 施設に調査票を郵送し、